

第5期麻生区区民会議 第10回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年10月2日（金）午後3時～午後4時39分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[委員]

岡倉委員、金光委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員

(欠席委員) 上野委員、白井委員、林委員

[事務局]

井上課長、白石担当係長、榎本

4 傍聴者 0名

5 配布資料

- 資料 1 各専門部会議事要旨
2 区民会議フォーラムスケジュール（案）
3 岡倉委員提供資料
4 平成27年度区民会議交流会の開催について（案）

参考資料

- 1 第9回企画部会議事要旨

6 議 事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みたくなるまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長欠席のため、菅野委員から、資料1-1により第10回部会の内容について報告。事務局より「子育てフェスタ」のアンケート結果について報告。アンケートの集計結果について、さらに分析をし、それを加えることでそれが魅力に繋がるのではないか。PRの方法について、検討していく。「空き家対策」について、6大学学生課等へヒアリングを行う予定。田園調布大学は、通学している学生の多くが自宅から通っているため、学生からの住居の相談等は受けておらず、玉川大学は、学生の住居の関係は業者委託しているため、大学では学生の住居のニーズ等は把握していないため、10月6日（火）にその他4大学にヒアリングを行う予定。フォーラムについては、空き家や少子化に関する本を執筆している著者を呼び、基調講演を行ってもらおう等の意見があった。市民活動部会の方向性を確認し、どのような内容にするか検討することとなった。

(主な意見)

・学生課等へヒアリングを行う時に、大学生に会うことができれば、麻生区がどんな町なら住んで

みたいか等の意見を聞いてみるとよいのではないか。

・先日の改革カフェに参加したが、学生が多く参加していた。未来のビジョンを今から植えつけていけないと育たないのではないか。

・若い人は、ファッション性を求めている。例えば、吉祥寺のような遊び場や公園やファッションなどが揃っている町が挙げられる。

・空き家をリフォームするなどして、働きやすいまちづくりを目指していくのも良いと思う。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会

【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第10回部会の内容について報告。先日開催された「子育てフェスタ」にボランティアとして参加した委員から感想を得た。若い世代が何を求めているかを知ることが、まちづくりにつながる。行政が主体のままでは今後につながらないので、市民が主体となるような実行委員会形式などの仕組みが必要。1日拘束されたものの昼食や、終わりのあいさつがなく、残念であった。「麻生老人福祉センターへの現地調査報告」について、いこいの家と市民館を併せた機能を持っている。各団体は個別に活動しているので、団体の中に入って話を聞くことは難しい。また、2~3カ月先まで予定が埋まっている。「健康づくりのつどい」での調査の進め方について、パネルにポストイットを張り付ける方式で、前回意見が一致した。パネルとアンケートの質問内容を同一にし、他イベントで待っている人に対して聞き取り、それを委員がパネルに移しかえれば、多くの意見が集まる。ボランティアの参加が健康寿命を延ばすことを説明する冒頭のパネルは目を引くキャッチフレーズが必要。次回部会後の10月23日（金）に「健康づくりのつどい」ブースの準備をする予定。フォーラムについては、2月を目安に開催を検討していく旨、確認がなされた。地域人材育成会議でも話が出ているので、状況を確認しつつ進め、健康づくりのつどいの感触を掴んで内容を検討していく。

(主な意見)

・市民活動・地域活動の活性化部会について、市民活動の中のボランティアに焦点を当てているようであるが、ボランティアを増やせば、どのように地域活性化に繋がるのかが見えてこない。ボランティアをどういう風に育てるか、どのような状態になったら活性化なのかを定義づけをしていかないとわかりにくい。

・引きこもりの人やシニア世代にターゲットに絞っており、いかに健康寿命を延ばし、健康で生きがいを持って過ごしていくことが大切である。そのために、ボランティアがある。

・例えば、運動（卓球クラブや少年野球等）するような団体や将棋団体等を育てることによって、何かあった時に自然と協力してくれる。共生できれば、共助が生まれるのではないか。

・先日、改革カフェに参加して感じたことがあるが、上から地域を見ると、決して活性化していないわけではない。祭りや盆踊りにも地域や町内会同士が協力して運営している。専修大学の学生がゼミで町内会に入って活動して、地域貢献している例もある。団体活動においては、ボランティアが不足している。そのため、団体としては、ボランティアを増やしていきたい。行政がどれだけ地域に入ってくるかが課題ではないか。

・麻生区全般で見ても人材が足りない。そうした問題に目を向けてほしいということなのか。それ

とも、もっと地域への奉仕に目を向けてほしいのか。

→もっと地域への奉仕に目を向けてほしいと考えている。引きこもりがちなシニア世代がどうしたら家から地域へ参加できるかを検討している。

・はじめに、市民活動・地域活動の活性化部会とタイトルを決めたが、中身としては、ボランティアを活性化するための部会として考えている。ボランティアをすると健康寿命が延びるということやいきいきと暮らすために地域と交わると楽しいと感じるようになる。そうなると地域活性化もしていくのではないかな。

・地域デビューについて、ボランティアだけでなく、趣味として交わることもある。声掛けをしてくれるようなボランティアが出てくるとよいのでは。

(2) 区民会議フォーラムについて

・事務局から資料2より、区民会議フォーラムスケジュール（案）について、説明。

・企画部会として、フォーラムをやるということでよいか。

→よい。

・少子化に向けたまちづくり（人材育成を含めた）をテーマにするのがよいのでは。それに関する本の著者もいるので、講演をしてもらうのがよいのでは。

・スケジュールを考慮するとフォーラムは1回限りとなる。ある程度、企画部会で方向性を決めていかないと間に合わないのではないかな。2部構成か、1つのテーマを元に両部会に関わるテーマを考えるか（基調講演やパネルディスカッション等）、片方の部会のみで開催するか。また、対象者のことを考えないといけない。

・第4期のフォーラムでは、出演者へのアポイントなどは、各部会長が中心となり、区民会議委員が行っていた。

・小学校の消滅は様々な所に波及していくため、町の衰退を意味しているのではないかな。今はあまり実感がないかもしれないが、30年後くらいになると、この問題が出てくると思う。

・人が集まるようなテーマを考えていくには、あまり遠い未来というスタンスより、5～10年後のイメージでないと掴みにくいのではないかな。

・次回各部会で、フォーラムについて、ある程度具体化した案を決めることが必要になる。各部会長を中心にフォーラムについては検討していき、次回の企画部会に案を提示する。

・先ほど、健康づくりのつどいの感触を掴んでフォーラム内容を検討していくとあったが、スケジュールを考慮すると間に合わないの、その前に内容を検討していく必要がある。市民活動部会については、事前にメールで各委員の意向を確認する。

・2月中旬以降開催を目安に会場を押さえておく必要がある。市政だよりへの掲載は、2月1日号とする。

→会議室の空き状況について、事務局が確認。

7 その他

○先日の避難勧告について

・岡倉委員から資料3より、先日の避難勧告について、説明。避難勧告の対象者が避難しなかった事実を考えると、災害対応の準備が十分なのか不安が残った。

- ・今回の勧告では、ハザードマップで対象になる人が多かった。
- ・日頃から情報を集めておくことや最終的には、自分がケガをしないように注意して、自ら判断していく必要がある。地域社会に入っていないとそういった情報もわからない。
- ・区民会議委員から問題提起があったということで受け止める。

○平成27年度区民会議交流会の開催について（案）

事務局から資料4より、平成28年2月3日（水）に開催される区民会議交流会の出欠確認を行いたい旨、説明。メールやFAXで照会をするので、10月23日（金）までに回答をお願いしたい。

以上